

負荷分散サービスの比較

サービス	Load Balancer		Application Gateway	Traffic Manager	Front Door
特徴	1 秒あたり数百万の要求を処理		リージョン内、アプリケーション レイヤーでの、サーバー間の負荷分散	DNS ベースのトラフィック ロード バランサー	Microsoft グローバル エッジ ネットワークを使用して、セキュリティで保護された高速でスケーラビリティの高い Web アプリを作成するためのスケーラブルなグローバル エントリ ポイント
種別	L4 (TCP/UDP) ロードバランサー		L7 (HTTP/HTTPS) ロードバランサー	DNS 応答を使用して、クライアントを適切なサービス エンドポイントに転送	L7 (HTTP/HTTPS)
サービスの場所	リージョン内	リージョン間(2020/9～)	リージョン内	グローバル	グローバル
負荷分散先 (バックエンド/エンドポイント)	NIC/VM/VMスケールセット/IPアドレス (Standard LBのみ)	Load Balancer	NIC/VMスケールセット/パブリック IP アドレス/プライベート IP アドレス/FQDN/マルチテナント バックエンド (App Service など)	Azure エンドポイント(App Service等)/外部エンドポイント(IPアドレス)/入れ子 (Traffic Managerプロファイル)	インターネットに公開されたサービス(ホスト名/パブリックIPアドレス) Azure内/外どちらも可
ルーティング方法	ハッシュベース (5 タプル) / クライアント IP (2 タプル) / クライアントIP+プロトコル (3 タプル)	geo 近接負荷分散アルゴリズム (クライアントから開始されたトラフィックは、最も近い参加リージョンに到達し、Microsoft のグローバル ネットワーク バックボーンを経由して、最も近いリージョン デプロイに到達)	複数サイトのホスティング/URLルーティング/リダイレクト (バックエンドプール内:ラウンドロビン)	優先順位/加重/ パフォーマンス/ 地理的/ 複数値/サブネット	待機時間/優先順位/重み付け/セッションアフィニティ(同じエンド ユーザーからの要求が同じバックエンドに送信)
負荷分散先の監視	正常性プローブ	あり (1 つのリージョンで障害が発生した場合、トラフィックは次の最も近い正常なリージョンのロード バランサーにルーティング)	正常性プローブ(デフォルト/カスタム)	エンドポイント監視	正常性プローブ(HTTP/HTTPS)
セキュリティ	NSG (Standard の Load Balancer + Standard のパブリックIPアドレスの場合)		WAF/TLS終端		Azure DDoS Protection Basic・Standard との統合/Azure WAF/HTTP(S)以外のブロック/キャッシュによる負荷削減